



H24年度畑かんマイスター連絡協議会が開催されました。

- 平成25年3月6日（水）、霞ヶ浦農業用水管理センターにおいて、畑かんマイスター連絡協議会が開催されました。
- 本協議会は、畑かんマイスターの方々が、活動内容について意見交換を行い、畑かん営農の効果的な推進方策を検討する場として毎年開催しております。
- 当日は、平成24年度活動報告に加え、平成16年度から24年度までの成果報告や受講者アンケートの意見が紹介されました。
- 畑かんマイスターが直接農家の方に畑地かんがいの効果や事業推進の苦労話などをお話する「出前講座」について、アンケート結果から多くの方より「大変参考になった」、「さらに詳しい話を聞いてみたい」と回答をいただくなど、地域の人々に大変好評をいただいております。
- 畑かんマイスターのご尽力により、多くの地区で畑かん整備が進んでおり、天候に左右されない計画的な作付けが可能となっております。

※畑かんマイスターとは・・・

- ◆県では、茨城農業改革の取組の一環として平成16年度より、実際に畑地かんがいを導入して効果を上げている農家の方に畑地かんがいの推進役として活躍してもらう「畑かんマイスター制度」を実施しています。
- ◆畑地かんがいの達人のことを、敬愛の念を込めて『畑かんマイスター』と呼んでいます。茨城県知事の委嘱を受けた26名の方々がご活躍頂いております。



《当日の協議会の様子》

（次ページでアンケート結果などを紹介）

畑かんマイスター 平成16年度～平成24年度の取組実績及び成果

- 講座回数：133回
- 受講者数：2,943人

【主な成果】

新規畑総地区	12地区	中結城地区(八千代町) 西生子地区(坂東市) 東成井西部地区(石岡市) など
畑かん拡大地区	17地区	江川新宿地区(結城市) 借宿生子地区(坂東市) など

※新規畑総実施地区：畑かんマイスターを活用し、畑地帯総合整備事業を実施することになった地区

畑かん拡大地区：畑かんマイスターを活用し、畑かん施設整備の拡大が図られた地区

その他、多くの地域で、地元啓発推進に活用されています！

～ 受講者からの主な意見（アンケート結果より） ～

- 換地がとても重要であることが理解できた
- 畑かんマイスターの話聞き、俺も子供にと心に決めました
- 後継者がたくさん残っている。これが畑総、畑かん効果
- 畑かんを利用した野菜は、市場で高評価を得ている
- 耕作者だけではなく、地域ぐるみで組織づくりをしていることが参考になった



出前講座の様子



現地における説明

※本制度は、これまでの活動により一定の組織が確立されたことから、**平成25年度以降は県西農林事務所から霞ヶ浦農業用水推進協議会へ移管されます。**事務所も引き続き支援してまいりますので、興味のある方はお気軽にご連絡下さい。

【連絡先】

県西農林事務所土地改良部門霞ヶ浦農業用水推進課
茨城県筑西市二木成615（筑西合同庁舎内）
電話 0296-24-9246